

6年生が作ったしおいを渡しました！

フィエイン！エウェ語でこんばんは！10月3日に6年生が作ったしおいを無事に渡すことができました。今、先生が働いている学校の中学生に渡しました。みんなが快く引き受け、一生懸命つくったしおりは、ガーナの子どもたちを笑顔にしました。国境を超えて、たくさんの人を笑顔にした君たち！これはすごいことです。

実は、先生が暮らしている街の子どもたちは本を読む習慣がありません。小学生は一人一冊、教科書もないのです。先生の教科書が一冊のみです。一方で、中学生はそれぞれの教科書を持ち、授業を受けています。だから今回は中学生にプレゼントすることにしました。

「寿司って何？」「富士山って何？」「その山はどれくらいの高さなの？」たくさん質問されました。生魚を食べない人たちにとって寿司がどんな味が想像できないようです。また、ガーナで一番高い山は885メートルだから、富士山がとても高くて驚いていました。みんなだったら、日本のことをどのように伝えますか。



▶ 中学1年生

教科書などにはさんで使ってくれるようです。

▶ 中学3年生

▶ 美南小の6年生が作ったしおり

ガーナの学校は制服があります。

これまでの写真を見て、日本とどんな違いを見つけられるでしょうか。今日は制服についてお話しします。今、先生が行っている学校は緑色の制服を着ています。しかし、先生の家そばに住んでいる子供たちは緑の制服以外にも、オレンジと紫の制服を来ている子がいました。なぜ同じ学校ではないのか聞いてみると「教会が違うんだよ。」と言っていました。ガーナの人たちは70%がキリスト教徒です。16%がイスラム教徒で、残りは伝統的な宗教だそうです。毎週日曜日の午前中に教会へいってお祈りをしています。教会の種類でそれぞれの学校に行きますが、近所の子たちは学校関係なくとても仲よく過ごしています。差別なく、お互いを認め合っている様子が見られます。

▶ 同じ地区の中学3年生が大集合しました。お金を払った人が参加でき、理科の実験が紹介されました。日本のように理科で使うものがないですからね...とてもよい経験をしたと思います。ここでも制服の違いが分かりますね。



▶ 理科の実験を見た後、午後からはテストが行われました。その場で採点され、正解率がトップの子は紹介されていました。机がないので足の上で書いています。しかも隣との間隔が狭すぎる！

今日のガーナ飯

「フフ」



食感は「もち」です。プランテーション(甘くないバナナのようなもの)と、キャッサバ(タピオカを作るときに使う芋)をむしてからつぶします。時間と体力が必要です。スープにつけていただきます。

